



社会福祉の向上

くさ 草 なぎ 薙 ヨ シ

(79歳)

住所

仙北郡中仙町

大正12年から昭和31年まで児童の教育に尽くす一方、婦人会の結成に尽力され昭和22年中仙町豊川地域婦人会会長に就任、昭和41年仙北郡地域婦人団体連絡協議会会長、秋田県地域婦人団体連絡協議会副会長等を歴任し、婦人会活動の充実発展に努め、婦人の地位向上に大きく貢献している。

また、日本赤十字社秋田県支部評議員、赤十字奉仕団秋田県支部委員会副委員長、結核予防会秋田県支部結核予防婦人会副会長等多くの要職に就かれ、奉仕団活動及び結核予防思想の普及と皆検診事業の基盤を築くなど本県の福祉の向上に寄与している。



彫刻の創作と普及指導

あ べ よね ぞう
阿 部 米 藏

(74歳)

住所

秋田市

昭和8年から小学校、高等女学校の教師として児童生徒の指導にあたった後、昭和26年から秋田大学、聖園学園短期大学、秋田経済法科大学等において多くの子弟に彫刻を指導するとともに秋田県彫刻連盟会長、秋田県美術作家協会副会長として団体及び後進の指導育成に尽力するなど芸術文化の普及発展に大きく貢献している。

また、秋田駅前広場の「団らんの群像」、千秋公園の「少女と鳥のモニュマン」など多くの彫刻を県内各地に設置し、地域のシンボルとして高く評価されており彫刻文化の環境づくりに寄与している。



保健衛生の向上

志 田 ち ゑ

(72歳)

住所

秋田市

昭和8年以来、長年にわたり看護業務一筋に精励し、この間、昭和21年から秋田赤十字病院看護婦長、秋田赤十字高等看護専門学院教務主任、秋田赤十字病院看護副部長を歴任し、昭和43年から看護部長に就任、情熱を傾けて後輩の育成にあたり、多くの優秀な人材を社会に送るとともに県内看護婦の社会的地位の向上に尽力したほか、卓抜した指導力を発揮し県内各地における研修会等を通じて看護婦の資質の向上に努め、本県の保健衛生の向上に大きく貢献した。



産業経済の発展

すずき せつ お 夫
鈴 木 節 夫

(70歳)

住所

秋田市

昭和30年秋田商工会議所議員に選任されて以来、常議員、副会頭等の要職に就かれ、長年にわたり同会議所の運営に参画し、本県経済界の指導的役割を果し、産業の振興に尽力している。

特に、昭和44年同会議所内に設置された「卸売団地総合センター建設特別委員会」の委員長として、建設用地の確保、マスタープランの作成などに精力的に取り組み、翌45年に「協同組合秋田卸センター」の創立と建設にこぎつけ、今日の発展の基礎を確立し、本県卸売業界の活性化と発展に大きく貢献している。



歴史学の研究と振興

はん だ いち た ろう
半 田 市 太 郎

(69歳)

住所

秋田市

昭和18年、秋田師範学校の助教授として赴任以来、秋田大学の学生部長、教育学部長の要職に就かれ、長年にわたり教育（歴史学）の振興に尽力し、多くの教育者を育成したほか、現在、秋田経済法科大学教授として子弟の教育に尽力している。

また、専門の歴史学研究においては、すぐれた業績を収め、特に、昭和46年の「近世漆器工業の研究」は高い評価を受け、東北大学より文学博士の学位を受けている。

更に、昭和26年秋田県文化財専門委員等を務め、県文化財保護の啓蒙に努めるとともに県立博物館の建設、秋田県史の編さんに尽力するなど、本県の教育文化の振興発展に大きく貢献している。



教育の振興と 製錬技術の研究

うめ 梅 津 よし 良 之

(67歳)

住所

秋田市

昭和25年秋田大学鉱山学部の助教授として赴任以来、同大学の鉱山学部長、学長の要職に就かれ、大学の運営はもとより子弟教育の振興に尽力されたほか、長年にわたり本県金属工学分野、特に、本県の主要産品である非鉄金属の製錬の発展に大きく貢献している。中でも亜鉄塩酸の分解に関する研究、非鉄製錬浸出残渣の湿式処理法、銅の自溶炉製錬法の確立等については高い評価を受けている。

また、秋田県水質審議会、秋田県公害対策審議会の会長および秋田県産業教育審議会の委員として地域の発展に寄与するとともに学界の各種委員会の委員を務め学界の発展にも尽くしている。